



学校発信情報

「まなぶん」

このコーナーは、町内の小・中学校における特色ある教育活動や取り組みを紹介するコーナーです。
また、愛称の「まなぶん」は、「学ぶ」と地図記号で学校を表す「文」をあわせたものです。町内小学校10校・中学校5校を連載でご紹介しています。

学校データ

(8月1日現在)

校長	矢口 文康
教頭	瀬川 裕司
教員数④	4人
⑤	3人
養護教員	1人
事務職員	1人
事務生	1人
児童数	17人
生徒数	4人
学級数④	4学級
⑤	2学級

姉南運動の推進

- あかるい笑顔で私がします。
- ねばり強くがんばります。
- どんな時でも、挨拶・返事。
- しんせつされてありがとう。

《姉別南小中学校》

学ぶ子・優しい子・元気な子

本校では、「学ぶ子」・「優しい子」・「元気な子」を目指し、知・徳・体のバランスのとれた教育活動に取り組んでいます。
まず、子ども達が自ら学び自ら考え主体的に判断するなど、「確かな学力」を身に付けるための指導や支援を行っています。また、小規模校ならではの良さを生かし、各教科で言語活動の充実を図ったり、授業の工夫や指導方法の研修を深め、家庭学習への取り組み等を積極的に発信するなど、教職員一丸となって学力向上に取り組んでいます。

また、子どもの人格を最大限に尊重した指導に努め、自分が好きという自己存在感、自分には良いところがあるという自己肯定感、自分は人の役に立っているという自己有用感を育てています。また、子どもの心に響く道徳教育・姉南運動の推進や、キャンプ・自然体験・職場体験等の体験活動や挨拶運動の積極的な推進などに努めています。

さらに、体育の授業の充実をはじめ、姉別南地区合同運動会、マラソン大会、スケート大会、縄跳び検定の取り組みなどを通して体力づくりを推進しています。また、健康・教育相談活動や相談結果の公表と交流などを推進しています。



小学校 校外キャンプ



中学校 職場体験学習



第1回 縄跳び検定

私たちの町の高等学校 霧多布高校通信

No. 111

第56回 霧高祭

「MAXIMUM Summer

～夏に盛り上がらないなんてどうかしてるぜ～

110人の生徒の気持ちが一つになり大成功！！

「MAXIMUM Summer～夏に盛り上がらないなんてどうかしてるぜ～」をテーマに、7月18日、19日の2日間で霧高祭が行われました。1日目の開会式では、生徒会が多くの時間をかけて作成したオープニング映像が上映され、会場の雰囲気の大いに盛り上げてくれました。文化委員によるクイズ大会などの企画や、PTAのご協力をいただいた前夜祭での全校焼肉に花火、火文字などが行われました。

2日目は、クラスや部活動の展示、模擬店、バザー、有志によるバンド演奏等が行われ、校内は保護者や地域の方々など、多くの参観者で賑わいました。また、生徒たちが連日汗を流して一生懸命練習したクラスステージは非常に完成度が高く、学祭のムードも一気に最高潮に達しました。

今年の霧高祭は、例年にも増して110人全員が主体的に取り組むことで、クラスや全校生徒の団結がさらに強くなったように感じました。



第24回 浜中町少年の主張大会

優秀賞 『人との出会いと別れ』 茶内中学校二年 掛水 ちひろ

人はこの地球に約六十億人います。この日本には約一億二千万人います。北海道の中だけでも約五百六十万人います。私たちはこの数字の中の一人にすぎないのです。つまり、「人に出会うこと」これだけで奇跡だと思いませんか。

今、私達のまわりにもたくさんの方がいて、その数だけ出会いがあります。出会いがあれば、もちろん別れもあります。私はまだ生まれて十三年しかたちませんが、その中でもいろいろな人と出会い、別れを体験しています。

まず、生まれてはじめて出会う人は、やはり「両親」です。この地球に生まれて、人として生きていくことに、一番賛同してくれて、一番力をかしてくれて、一番支えてくれる人ではないでしょうか。これも立派な出会いの一つですね。

つぎは「友だち」との出会いについて考えました。先ほどの両親との出会いと一番違うところは、出会う相手が「他人」であるということです。ですが、私は、このさき生きていく上で、友だちの存在は絶対不可欠だと思います。共に学び、共に歩み、時にはバカなことをやって共に笑い…。友だちの存在は人生を十倍、百倍いやそれ以上に充実したものにしてくれます。

出会いというものは人とのつながりのはじまり。何を学ぶのかは人それぞれ。しかし、はじまりがあれば、おわりもあります。それが別れ。別れというものには非常に辛く、悲しいものです。私がこれを一番実感したのは、「先生」との別れです。離任式というものが毎年あり、その時期になると、『また、だれかと別れることになるのか』と思い、とてもさみしくなります。小学校の時の私の担任の先生が今年の三月に釧路に異動しました。先生は、とても優しく、親しみやすく、私が中学一年生になってからも、いろいろな話をしてくれました。私は先生のこと

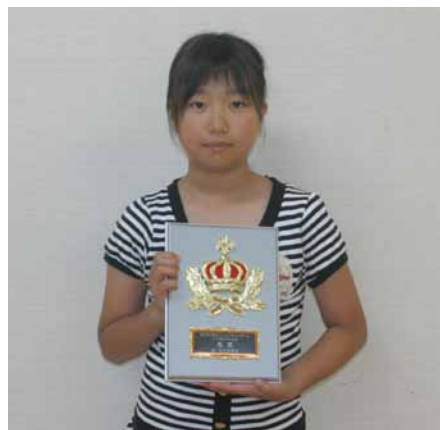


な経験をみなさん一度はしたことがあるのではないのでしょうか。

私は今回、出会いと別れについて実際にあった事もふくめ、考えた結果、地球に生まれて人として生きていく以上、出会いと別れはつきもので、その出会いにこめられた運命を感じ取り、別れまでの限られた時間の中で相手を知り、また、新しい自分を知り、次の出会い、別れ…。と循環していくものだと私は思います。この結論をもとに私の主張は一人一人の出会いを大切にしていきたいと思います。互いに支え合い、助け合える仲間を見つかるにもまずは出会いから。この大きな世界での小さな出会いを大事にしてほしいです。意味のない出会いなんてないのです。今は出会った意味が分からなくても、地球が回転するとともに、別れが近づくとともに、分かってくることでしょう。私自身も、これから先のどんな出会いも大切に、そしてその意味もしっかりとかみしめ、出会えたことに感謝して生きていきたいと思えます。この地球のすべての人に、素晴らしい出会いがありますように…。

をすごく尊敬していただきました。そんな先生が離任すると聞いて、私はとても落ちこみました。簡単には会えなくなるし、なかなか話すこともできなくなると思いました。それとともに、もうちょっと何か恩返しができなかったのかという後悔もありました。このよう

霧多布小学校八年生 金澤 侑季さん
第二十九回毎日こどもピアノコンクール
釧路地区予選で金賞を受賞！



毎日新聞社が主催する、「第二十九回毎日こどもピアノコンクール釧路地区予選」が七月二十五日に開催され、本町の小学六年生金澤侑季さんが金賞を受賞しました。四歳の頃からピアノを始めた金澤さんは、小学校二年生から同大会に出場しています。今年は昨年引き続きの金賞受賞となり、八月五日から札幌市で開催された本選会への出場切符を手に入れ、全力を尽くして演奏してきました。

「中学生になっても練習を重ね、本選会に出続けられるようがんばりたい。」と金澤さんのピアノに対する意欲はつきません。今後の活躍を期待します。

★学校教育からの情報コーナー★

先輩の先生から学ぶ!～初任者研修・学校視察～7/8 茶内小学校

新規採用になった先生には、数々の初任者研修が義務づけられおり、この日は学校視察研修を茶内小学校において実施しました。

茶内小学校の各教室では、一人一人が考えたことを、書いたり発表したりする活動や、子ども同士で考えを交流し合い深めていく活動が行われており、子ども達の学習意欲を高め、思考を深める発問や、必要感をもたせ主体的な学習を促す工夫など、たくさんのことを先輩の先生の授業から学ぶことができました。

また、小関校長先生から、授業づくりの基本や社会人としての自覚など、駆け出しの先生方に期待を込めた講話がありました。



考えを交流し思考を深める6年生

日頃の体育の成果、たくましさを発揮!～体育祭～7/17 浜中中学校

浜中中学校では、1学期の最後に『体育祭』が行われました。全校生徒23人(1年生9人、2年生6人、3年生8人)が、赤組と白組に分かれ、整然と入場行進を行ったあと、陸上競技種目、団体種目、球技大会といった種目が行われました。

生徒たちは、100m走、走り高跳び、走り幅跳び、ボール投げといった陸上競技に全力で挑戦し、自己記録を出していました。

日頃の体育活動で身に付けたたくましさを発揮し合う場になっており、目標に向かってみんなで励まし高め合おうとする生徒同士や生徒と先生の一体感が表れている素晴らしい体育祭でした。



走り高跳びの記録に挑戦する生徒

よりよい授業を子どもたちのために!～先生の勉強会『教師塾』～8/10

浜中町の学校は、若い先生が多く、経験は少ないながらも子どもの教育への情熱は強く、地域の先生として頑張っています。

しかし、よりよい授業を行うためには、教科指導力を向上させる努力が必要です。個人や各学校において、授業研究が行われていますが、この日は、浜中町として教員指導力向上研修『教師塾』を2月に引き続き総合文化センターで開催しました。

子どもたちが、受け身ではなく主体的に学び、基礎基本を繰り返し習得し、様々な方法で問題を解決する力を身に付けられるよう、授業における課題の提示方法、発問の仕方、学習の展開、板書の仕方、家庭学習の指導、子どもとの関わり方など、講師の釧路教育局西川忠克指導主事から様々な指導を受けました。

参加した町内の小学校、中学校、そして霧多布高校の先生方は、実際にどのように指導するのがよいのかを場面ごとに考え、積極的に意見を交流し合い、2学期からの授業をよりよいものにするために、熱心に研修に取り組んでいました。



指導力向上研修に取り組む先生方

☆浜中町教育委員会では、全ての子どもたちが充実した学校生活を送ることができるよう、生活習慣の基盤である「早寝、早起き、朝ごはん」の実践を奨励しています。

☆浜中町の全ての子どもが、毎日朝ごはんをしっかり食べて、余裕をもって、元気に登校することができるよう、全てのご家庭のご協力をよろしくお願いします。



新着図書案内



<p>『おいしそうなバレエ』 ジェイムズ・マーシャル／文 モーリス・センダック／絵 (児童書) ブタの町に迷い込んだはらぺこオオカミは、バレエの劇場に入り込み、おいしそうなブタを食べようと考えます。ところが、バレエを見ている間に…。</p> 	<p>『妖界ナビ・ルナ①解かれた封印』 池田 美代子／作 琴月 綾／画 (児童書) 小学4年生の竜童ルナは半分人間、半分妖怪。ある事件をきっかけに、自分の超能力と人間界での任務に目覚める。猫のスネリ、ふくろうのもっけと旅に出ます。</p> 	<p>『1年366日のひみつ』 竹内 誠／監修 大橋 よしひこ／まんが (児童書) 1年は365日？ 366日？ 毎年どんな行事・祝日・記念日があるのか。また、今日はどんな日か。自分の誕生日はどんな日かな。毎日のひみつを楽しく紹介。</p> 
<p>『ガレット&クレープ』 三宅 郁美／著 (一般書) フライパンひとつですぐできる! 材料は「粉1カップ、卵1個」と覚えやすく、とても簡単。憧れのガレットとクレープが作れる、とっておきのレシピを紹介。</p> 	<p>『続かない女のための続ける技術』 剣持 まよ／著 石田 淳／監修 (一般書) 続かない! には理由があった。行動科学でひもとく三日坊主のメカニズム。いつでも、誰にでも簡単に三日坊主から抜けられる「続ける技術」を公開。</p> 	<p>『太陽の Pasta、豆のスープ』 宮下 奈都／著 (一般書) 突然、婚約破棄を言い渡され目の前が真っ暗になった明日羽は、叔母にやりたいたい事、欲しい物リスト作りを勧められる。ひとりの大人の女の子の本当の成長の物語。</p> 
<p>≪児童書≫ 『トーマス大図鑑』 ポプラ社／編 『ロンド国物語4 消えた魔法使い』 エミリー・ロッダ／作 ≪一般書≫ 『つぶつぶ雑穀スープ』 大谷 ゆみこ／著 『千代と与一郎の関が原』 佐藤 雅美／著</p>	<p>『呪術師ペレネル』 マイケル・スコット／作 『なによりもたいせつなこと』 あさの あつこ／著 『赤ちゃん子どものアトピー&アレルギー』 永倉 俊和／監修 『龍馬伝Ⅱ』 福田 靖／著</p>	<p>『トッキーさんのボタン』 かとう まふみ／作 『1Q84 BOOK3』 村上 春樹／著</p>

～読み聞かせおすすめ絵本～

『はらぺこあおむし』

エリック・カール／作 もり ひさし／訳 偕成社出版
はっぱの上に小さなたまご。ぼん! と生まれたちっぽけはらぺこあおむし。食べるものを探しました。月曜日りんごを1つ。火曜日にはナシ2つ。水曜日、木曜日…土曜日には? 食いしんぼうのあおむし、最後には…。

(読み聞かせの目安 1歳から)

『ふゆじたくのおみせ』

ふくざわ ゆみこ／作 福音館書店出版
リスさん夫婦の『ふゆじたくのおみせ』が開店しました。通貨はどんぐりです。クマさんは仲良しのヤマネくんにごんぐり50個でチョコッキを。ヤマネくんはクマさんにごんぐり500個でセーターを。とてもキレイな秋色の絵本です。

(読み聞かせの目安 1歳から)

「絵本らんど・おはなしタイム」のお知らせ

総合文化センター (2階・図書室) 午前 11 時より

9月11日 (土)

9月25日 (土)

紙芝居 『おおきなかぶ』
絵本 『にんじん』
絵本 『ママだいすき』

紙芝居 『あかずきん』
絵本 『くつしたくん』
絵本 『おおきなぞうさん』